

女性活躍推進法 成立！ (女性の職業生活における活躍の推進に関する法律)

2015年8月28日、企業に女性登用を促す法律「女性活躍推進法」が成立しました。

301人以上の労働者を雇用する事業主は2016年4月までに、

- ①自社の女性の活躍状況の把握・課題分析
 - ②行動計画の策定・届出
 - ③情報公表(学内外)
- などを行う必要があります。



次世代認定マーク 「くるみん」を取得しました

上智学院は、前回に引き続き、2015年12月15日付で東京労働局より次世代育成支援対策推進法に基づく基準適合一般事業主に認定され、次世代認定マーク「くるみん」を取得しました。今回の「第4期上智学院一般事業行動計画」では“子どもを育てる労働者が利用できる措置の実施”を計画目標としています。

「計画：教職員が養育する子の育児または保育の必要があるとき、始業・終業の時刻を変更できる範囲を拡大する。」



ロールモデル集Ⅵ「自分らしく学ぶー誰でもどこかで少数派ー」が完成！

少数派なんて関係ない？！

2015年12月に第5集となるロールモデル集が完成しました。今回は、学科における男女差に焦点を当て、該当する学科の教員と学生からのメッセージを集めました。受験生の進路決定のみならず、在学中の学生が学科や研究室の中でコミュニケーションがとりにくくなってしまったりした時に手にとって“自分らしく学ぶ”ことのヒントになることを願って作成しました。



コモンスペースをご存じですか？

コモンスペースは、女性研究者および女子学生が他の専門分野の女性研究者や女子学生と面識を持ち、今後の研究活動やキャリアアップに役立つだけでなく、出産育児等と研究活動の両立に関する悩みを共有するためのネットワークを構築する場です。

妊娠中や産後の方が休息したり着替えたりする為の更衣スペースも設けています。

国立女性教育会館(NWEC)の図書貸出サービスも行っています。キャリアやダイバーシティに関する様々なテーマにあった図書を定期的に入れ替えております。HP上に図書リストを掲載しています。是非ご利用ください。



シンポジウム

「女性のリーダーシップで社会を変える」を開催しました。

日時：2015年12月1日(火)18:30~20:30

場所：2号館国際会議場

女性国会議員である野田聖子衆議員議員、辻元清美衆議院議員、蓮舫参議院議員の3人を本学2号館国際会議場に招いてシンポジウムを開催し、本学学生の他、新聞・テレビなどのマスメディアも含め、230名以上の参加がありました。現役の三議員からは、女性の政治参加についてホットな話題が提供され、会場は何度も笑いと拍手が起こりました。

はじめに、『進む女性の政治参画』と題として4人の専門家から報告がありました。

- ◆三浦まり教授(本学法学部地球環境法学科)：「女性のリーダーシップとは」
- ◆戒能民江名誉教授(お茶の水女子大学)：「DV防止法形成過程に見られる女性議員の役割」
- ◆太田啓子氏(弁護士)：「地域における女性参加」
- ◆浜田敬子氏(AERA編集長)：「女性国会議員に期待するもの」



後半のパネルディスカッションでは『女性のリーダーシップで社会を変える』というテーマで野田聖子氏、辻元清美氏、蓮舫氏が登壇し、モデレーターは三浦まり教授が務めました。3人の議員は女性として政治にかかわる厳しさ、難しさ、普段聞くことのできないエピソードも交えてお話くださり、パワフルで時間の過ぎるのも忘れるほど熱気に満ちたパネルディスカッションが進みました。学生からも多くの質問やコメントが出され、それに答える議員からは国民のために高い志と強い意志を持って活躍されていることが伝わり、政治への関心や多くの刺激を受ける機会となりました。

女性活躍推進法が国会で成立するなど、女性を登用するという機運は高まってきてはいますが、現実としては、2015年ジェンダーギャップ指数(世界経済フォーラム)では、日本は101位で、衆議院議員の女性比率は9.5%に留まっています。今後は、男性にも当てはまる長時間労働の是正、育児支援など相互の意識変革が女性のリーダーを育て、よりよい社会を形成していくことが期待されます。



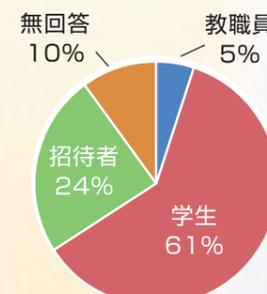
参加者からの意見

参加者の9割の方から大変興味深かったとのお意見をいただきました。以下にいくつかのコメントを紹介します。

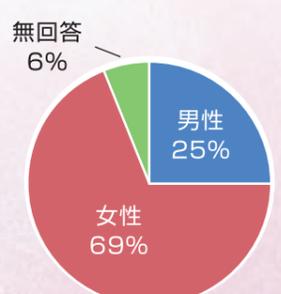
- ▶今まで政界に全く興味がなかったが、今日の話聞いて私も日本を変えたいと思った。特に私は仙台出身なので震災復興に携わりたい。
- ▶女性だからこそ感じている生きづらさや、強みを聴くことができよかった。同じ女性として、政治の現場で働く御三方を応援したい。普段から問題意識を持ち、共有したいと感じた。

アンケート結果

〈所属〉



〈全体の男女比〉



オープンキャンパス

日時:2015年7月30日～8月1日
場所:女子高校生対象 1-105教室
男子高校生対象 2-507教室

毎年オープンキャンパスでは女子高校生と現役女子大生との交流会・相談会のコーナーを設置しています。2015年度は、男子学生の割合が低い学科を対象に、初めて男子高校生向けのブースも設け、先輩に直接大学の生活や勉強の仕方、研究室の生活など様々な質問ができる機会を提供しました。会場では研究や学生生活が具体的にわかるように女性研究者や卒業生のプロフィールパネルも展示するとともにロールモデル集やニュースレターを配布しました。相談は、女子高校生が約200件、男子高校生が約212件と多くの高校生が訪れました。



グローバル・メンター相談会

メンター:平田由香里先生(米コルゲート大学)
日時:2015年7月8日
場所:コモンスペース(10-315)
専門:音声学、第二言語習得

アメリカにて長く教鞭を取られており、音声学・第二言語習得の分野で世界的に活躍されている平田由香里先生をお招きして相談会を開催しました。専門の第二言語習得の他、海外での研究者の生活やキャリア形成について幅広くお話しください、学生たちからはさまざまな質問が飛びかい、有益な会となりました。



グローバル・メンター講演会

「在米30年:研究者の生き方ー日米の違いを越えて」
メンター:June S. Levitt先生(米テキサス女子大学)
日時:2015年12月21日
場所:10号館301会議室
専門:言語コミュニケーション科学/障害

大学卒業後、コンピュータソフト会社勤務を経て、自営技術翻訳の仕事に従事後、大学院に進学された経歴をもつLevitt先生を迎え、約25人が参加しました。Levitt先生には、これまでメンター相談会を開催していただきましたが、今回は日米の研究者の生き方の違いに焦点を当て、専門である言語コミュニケーションや障害について講演いただきました。また、アメリカでは研究業績を常にアピールする必要があるとともに、ワーク・ライフ・バランスの難しさについて話題提供がありました。



千代田区 MIW 祭参加

日時:2015年10月2日～3日 場所:千代田区役所1階イベントフロア

千代田区男女共同参画センターの第3回MIW祭が千代田区の区民ホールにて開催されました。今年は「一人ひとり～違いは力」というテーマをきっかけ、日頃、男女共同参画になじみの薄い方たちも多く参加して頂けるような工夫を凝らしながら、一人ひとりの個性や力、存在のあり様を尊重する関係や社会について、パネル展示や活動を発表しました。ステージと4つのブースが設置され、本学男女共同参画推進室はパネル展示に参加しました。各ブースでは、「多様性」「女性のライフサイクル」「自分らしく」「仕事」などをキーワードに様々なイベントが開催され、初日には法学部地球環境法学科教授の三浦まり室長補佐が「一人ひとり～違いは力」政治における多様性を求めて」というタイトルで講演を行いました。

ソフィア・パープル・アクション

女性への暴力撤廃及び人権に関するアクション/16日間キャンペーン
実施期間:2015年11月25日～12月10日

昨年に引き続き、本年度も11月25日の「女性に対する暴力撤廃の国際デー」及び12月10日の「国際人権デー」にあわせ、男女共同参画推進室では『ソフィア・パープル・アクション』16日間キャンペーンを実施しました。

パネル展示



総合グローバル学部及び法学部の学生有志と男女共同参画推進委員である総合グローバル学部の田中雅子准教授の協力により、パープルアクションの取組みを紹介するパネル展示を2号館のエントランスで行いました。

ブックフェア開催

人権や暴力をキーワードにした本を学内にある紀伊國屋書店と図書館に集め、ブックフェアを開催しました。

映画鑑賞会



国際映画祭で多くの賞に輝いたサウジアラビアの長編映画「少女は自転車にのって」を鑑賞し、参画者と意見交換を行った。

今後もパープルアクションの理解向上に映画鑑賞会を実施してゆく予定です。

—参加者の感想—

- ◆「女性」というだけでこんなにも自由のない世界があることを知り、驚くとともにもっと勉強しなければならないと思いました。
- ◆現代サウジアラビアにおけるイスラームとその社会に暮らす女性の様子が分かりやすく描写されており大変興味深く感じました。普段イスラームに関しては政治に目を向けがちでしたが社会や文化にも目を向けなくてはと改めて思いました。

「日本植物脂質シンポジウム」を本学で開催

日時:2015年9月9日～10日

男女共同参画推進室室長補佐の齋藤玉緒本学理工学部教授が世話人をする日本植物脂質科学研究会主催の研究発表会が開催されました。

特別講演のほかに13の講演、ポスターセッションが行われ、2日間で約70人の研究者が集いました。

2009年に採択され、私立大学で初のS評価を取得した女性研究者支援事業の課題として、学会やシンポジウムの企画に参画する女性研究者を今後も支援してまいります。



開催予定

研究集会「第9回数論女性の集まり」

2016年5月21日(土)

本学理工学部情報理工学科の中筋麻貴准教授らが世話人となり、全国の数論関係の女性研究者・院生が集まります。海外からの参加も見込まれます。関心のある方(女性限定)は、男女共同参画推進室までお問い合わせください。